

令和6年度 市民と議会の意見交換会 「もっと知りたい！議会のこと」 報告書

令和6（2024）年11月23日 開催

- 1 意見交換会の概要
- 2 これまでの取組
- 3 市民意見・質問とそれらに対するコメント
- 4 参加者アンケート結果
- 5 資料編
 - (1) チラシ・ポスター
 - (2) 次第
 - (3) 当日説明用パワーポイント資料
 - (4) アンケート用紙

武蔵野市議会 議会運営委員会

1 意見交換会の概要

◆意見交換会開催の経緯

武蔵野市議会では、平成23（2011）年度より議会基本条例の検討に取り組み、平成30(2018)年度に条例素案及び逐条解説を取りまとめました。翌年に開催した市民との意見交換会や素案に対するパブリックコメントへの御意見を踏まえ、令和2年第1回定例会にて議会基本条例を可決し、令和2（2020）年4月1日より施行となりました。

本条例の第9条には、「市民との意見交換」の規定も盛り込まれていることから、令和4（2022）年11月27日に第1回目の「市民と議会との意見交換会」を実施し、このたび第2回目を実施する運びとなりました。

◆議会運営委員会委員（8名）

川名 ゆうじ（委員長） 木崎 剛（副委員長）

大野 あつ子（当日欠席）、深田 貴美子、宮代 一利、橋本 しげき、山本 ひとみ、西園寺 みきこ

◆運営に参加した議員

落合 勝利（議長） 与座 武（副議長）

道場 ひでのり、きくち 由美子、東山 あきお、本多 夏帆、小林 まさよし、浜田 けい子、菅 源太郎、さこう もみ、藪原 太郎、蔵野 恵美子、山崎 たかし、三島 杉子（当日欠席）、本間 まさよ、下田 ひろき、深沢 達也

◆日時 令和6（2024）年11月23日（祝・土曜日）13:30～15:45（13:30～15:30予定）

◆場所 武蔵野市役所8階 811会議室

◆当日の様子

参加者 31名（オンライン参加者含む）

市議会議員 23名、事務局 2名



会場の様子



川名委員長による説明

◆当日の流れ

開会 (司会) 木崎副委員長
議長挨拶 落合議長
説明 川名委員長
意見交換 (テーブルディスカッション及び発表)
休憩
グループ担当議員からの回答、質疑応答
副議長挨拶 与座副議長
閉会

◆オンライン参加の併用

オンライン (ZOOM) を併用して実施
事前申込制 案内チラシ、市議会だより、市報を通じて広報

参加者 5名 (事前申込み 6名)

◆手話通訳対応

手話を必要とされる方に対し、会場及びオンラインの手話通訳対応を行う
事前申込制 案内チラシ、市議会だより、市報を通じて広報

利用者 会場、オンラインともになし

◆キッズスペースの設置

お子様連れの参加者対応として、キッズスペースを用意
利用者 1名

◆広報

市議会だより、市議会ホームページで開催案内を実施
案内チラシ・ポスターを作成し、各コミュニティセンターに配布



オンライン参加の様子

2 これまでの取組

意見交換会の冒頭に、川名委員長から、議会基本条例や議会改革に関する武蔵野市議会のこれまでの取組を報告しました。主な報告内容は以下のとおりです。

I 意見交換会とは

- ① 議会改革の検討状況等について、これまでの取組を報告し、市民の皆さんと意見交換を行い、さらに改革を進めるため、開催するものです。
- ② 議会基本条例は、平成23（2011）年度から検討に取り組み、平成30（2018）年度に条例素案及び逐条解説を取りまとめた後、令和元（2019）年度に市民との意見交換会やパブリックコメントの聴取を経て、令和2（2020）年4月1日に施行されました。
- ③ 議会基本条例施行後、第1回目の意見交換会は、議会基本条例と議会改革をテーマとし、令和4（2022）年11月27日に実施しました。

II 議会基本条例について

- ① 「会議等の公開」（第4条）

この条項は、議会における会議を原則公開としたものです。議会における議論を公開することによって、意思決定のプロセスを市民に理解しやすくすることを目的としています。また議論の過程をわかりやすくするため、傍聴者に対する環境整備に努めることも規定しました。
- ② 「市民との意見交換」（第9条）

この条項は、市民の声を政策に反映することを目的として規定しました。
これまで常任委員会などにおいて、市民との意見交換を随時行い、議会活動の糧としてきましたが、改めて明文化したものです。
当初は他議会で行われている「議会報告会」として議論を進めてきましたが、一方通行の報告とならないようにするため、意見交換会として実施することを決めました。

★前回以降の取組

意見交換会を定期的開催することとしました。

- ③ 「請願及び陳情における提出者の意見聴取」（第10条）

請願・陳情とは、市政などについて、直接市議会に要望する制度です。
請願は法に基づく一定の手続が必要ですが、陳情は法によらず、簡素化した手続のみで行うことができます。
本市議会では、いずれも大事な意見・提案として受け止め、審議に努めてきましたが、改めて、市民からの請願・陳情の位置付けを明確化し、また提案者の意図を正しく把握するための意見交換の場を確保することを規定したものです。
- ④ 「広報広聴の充実」（第18条）

「広報」は、議会の活動を幅広く市民に知っていただくため重要な活動です。
また「広聴」は、議会活動が市民に伝わっているのか、議会の意思決定が住民福祉の充実に寄与しているのかなど、議会活動の向上に必要な活動です。
日々進歩を続ける情報発信ツールを活用しながら、広報広聴活動の充実に努めていく原則を定めています。

★前回以降の取組

- (1) 市議会だよりのリニューアルを、令和7年度に実施します。
- (2) 広聴の取組として、子ども議会を令和6年8月に実施しました。
- (3) 一般質問の動画作成について検討し、課題を精査しています。

⑤ 「政務活動費」(第22条)

全国的に政務活動費の不正使用が指摘をされる中、用途を明確にし、かつ不適切な使用を行わないことを規定しました。

具体的な基準等については別途定めています。

Ⅲ 議会改革について

① インターネット中継

従来のインターネット中継は、本会議・予算特別委員会・決算特別委員会に限られていましたが、新型コロナウイルス感染症により傍聴の制限が実施されたため、4常任委員会及び外環道路特別委員会のインターネット中継を実施することとなりました。

② 傍聴者のスマホ・タブレットの使用

傍聴者による電子機器の使用は、従来認められていませんでしたが、昨今の電子機器の利用普及を鑑み、会議に支障を来さない限りにおいて認めることとしました。

③ 傍聴者への資料・アンケート配付

議論の内容をより理解しやすくするため、傍聴者への資料提供を協議しましたが、現状でも一定の資料提供が実施されているため、継続協議となりました。なお、武蔵野市議会のホームページで、議案説明資料及び行政報告資料を、令和5年第4回定例会分から公開しています。

また、傍聴者より会議後の感想や意見をいただくアンケートの実施を協議しましたが、継続協議となりました。

④ 災害時対応

「議会危機管理フロー」を見直して、参集を前提とせず、オンライン活用を組み込んだ対応フローとするほか、議会BCPの策定に向けて、協議を行いました。

★前回以降の取組

「武蔵野市議会業務継続計画(議会BCP)」及び「武蔵野市議会業務計画の手引き」を令和6年5月に決定し、市議会ホームページで公開しました。

⑤ 議員間討議

議論のプロセスをよりわかりやすくする、透明性を高めることを目的に、最終的な意思決定の前に議員間での議論を行うことができる仕組みを整理しました。

⑥ 議会基本条例の見直し手続

(検証方法/外部評価)

議会内での検証だけでなく、市民等からの意見や評価も参考に見直しすることや、時期などについて継続して協議を進めることとしています。

IV 前回いただいた御意見と、市議会からの回答について

Q 陳情者の意図が正しく伝わっていないと思われる時があるが、どのような対応をしているか。

A 陳情審査時に陳述の場を設け、趣旨を確認しています。

Q 自治基本条例における議会の果たす役割をどう考えているか。

A 市の最高意思決定機関の役割を担っており、決定にあたっては市民の声をしっかりと受け止めるべきと考えています。

Q 市長の反問権についてどう考えるか。

A 質問の趣旨を明確にするため、議長又は委員長の許可を得て行うこととしています。

Q 傍聴者も水分摂取ができるようにしてほしい。

A 熱中症対策等の観点から、蓋付きの密閉容器による、体調管理のための水分補給は認めることとしました。

Q インターネット中継について、録画のアップロードが遅い。即日公開をすべきではないか。また、ユーチューブの利用は考えていないのか。

A 生中継を行った当日中又は翌日中に、速報版を配信しています。

Q 古い議事録をデータ化できないか。

A データ化に向けて検討を進めています。

Q 議会運営委員会と全員協議会のインターネット中継を実施しない理由は。

A 議会運営委員会は、主に内部協議を扱い、緊急の開催の場合に周知等の課題が残るので、実施していません。全員協議会の中継の実施は、検討中です。

Q 陳述の順番を、委員会当日の冒頭にしてほしい。

A 委員会の判断で、順番を入れ替えることができるようにしました。

Q 議案等への議員個人の賛否を公開してほしい。

A 市議会ホームページで公開しています。また、市議会だよりでも公開予定です。

Q 市民との意見交換の取組を、ハイブリッド形式で行ってほしい。

A 今回もハイブリッドで行いました。

Q 一問一答形式の導入推進について、どう考えるか。

A 議会運営委員会での検討の結果、一般質問については、自席で行う再質問の回数を4回から6回へと見直しました。

V その他

① オンライン委員会の開催や、議長選挙時の所信表明について、現在検討中です。

② 議会改革の先進事例を学ぶため、兵庫県西脇市議会、岐阜県可児市議会及び茨城県取手市議会への視察を実施しました。

3 市民意見・質問とそれらに対するコメント

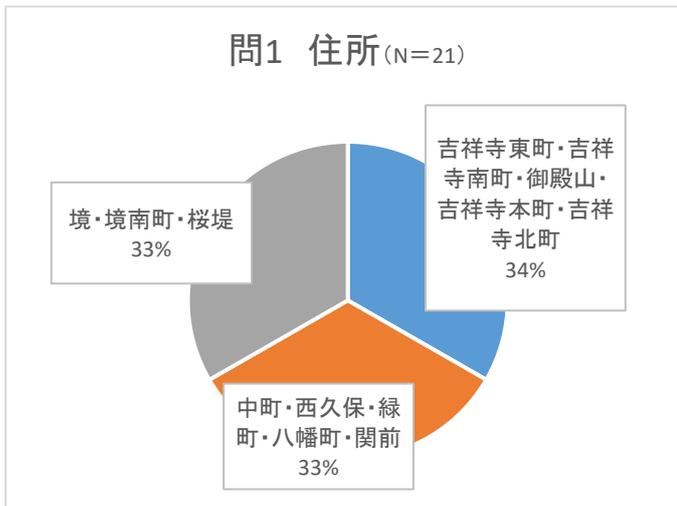
番号	発表順	内容	担当議員からのコメント
1	①	現役世代が使いやすいインフラとして、武蔵野プレイスのような夜間まで開いている施設が多い方がいい。	政党に所属している市議会議員と所属していない市議会議員があり、それぞれ考え方は違うと思う。ただ、なぜ市議会議員をやっているかと問われれば、全ての議員が市のためにやっていると必ず回答すると考える。
2		武蔵野市内の資源に偏在がある。図書館が市内に3館しかなく、もう少し文化投資として資源を多くできないか。	
3		災害について、貯水槽を30年ぶりに開けたとのことだが、組み立てが複雑であるなどの問題があり、災害時に使用できないのではないかと。	
4		ごみのポイ捨てが目立つようになってきた。市民清掃などの活動に参加する機会が増えるとういのではないかと。	
5		市議会議員は国政における政党を背負って出馬されているが、武蔵野市にとっていい政策をやってもらいたい。実際に市議会議員は国政政党の推している政策や理念を反映しなければならないのか。それとも柔軟に対応しているのか。	
6	②	議場に車椅子用の傍聴席はあるが、手話通訳等を利用する際は何週間か前に予約しなければならないと、柔軟性に欠ける。	議会のバリアフリーについては御意見のとおりであり、今後議論していきたい。ユーチューブの活用については、議会内でも意見が出ているが、活用に至るまでの検討が進んでいない状況だ。全員協議会のインターネット中継についても議会内で議論しているが、現状、実施には至っていない。本日の議論の全体を通して、率直な御意見をいただけたと感じている。議会内部で議論し切れていないことについて、議論を進めてもらいたいとのことだと受け止めた。今後、議会運営委員会でも議論を進め、良い方法が出るようにしていきたい。
7		議会中継に字幕や手話通訳が備わっていない。	
8		全員協議会室は不要では。傍聴席が少ないうえに狭い状況であり、一度傍聴に入ると退室しづらく、お子様連れの市民は傍聴に行きづらい。本会議場で全員協議会を実施したほうがよいのではないかと。	
9		市議会だよりに公募写真が掲載されているが、風景等の写真が多い。市内で団体活動をされている方々の活動風景等の写真を募集し掲載すれば、その団体経由で議会だよりを読む人が増えるのではないかと。	
10		ユーチューブでの議会中継を行えば、字幕が見られる。	
11		議会事務局のXのアカウントを作成し、情報発信をしてはどうか。	
12		市議会全体で市民の困り事を聞く会があるとよいのではないかと。	
13	ねずみの被害が増えている。ごみの出し方を各マンション等に任せるのではなく、システム的に変えていく必要がある。		

番号	発表順	内容	担当議員からのコメント		
14	③	本日の意見交換会がワークショップ形式だということは知られていなかったのので、事前に分かったとよい。	土日議会の開催は、平日に議会を傍聴できない方にとっては、重要なテーマである。1階ロビーでの議会の中継は、提案していきたい。陳情の審査順や、陳述の後に意見を言う機会を設けることなども含め、議会運営委員会で検討していきたい。		
15		陳情審査の際、質疑を通して論点が少しずつずれていってしまうことがある。陳情審査の最後に改めて陳情者からの意見表明の時間がほしい。			
16		議員と話せる機会が少ない。遠い存在のように感じてしまうため、もっと身近で相談しやすい環境があるといい。			
17		平日は仕事等で議会を傍聴できない人もいるため、議会を土日に開催するのはどうか。			
18		市役所1階のモニターで議会中継を行ってはどうか。			
19		中学校では政治に関する授業が少ないため、議会がどんなことをしているのか知りたい。			
20		市の情報が若者に届きにくい。例えばHPVワクチンについて、もう少し早く知っていれば接種できたということがあったと聞いたことがある。情報発信の形を見直す必要があり、現代に合ったプラットフォームで発信してもらいたい。			
21		武蔵野プレイスのユーススペースはとても便利だが、使用人数が増えているせいか、年々スペースが足りなくなっている。もう少し勉強できる場所を増やしてほしい。			
22		④		陳述を議案審査の前にするなど、陳情者に寄り添った対応をしてもらえないか。	市議会だよりについて、情報発信をどうやって分かりやすくするかということは課題である。限られた紙面の中で情報は少なすぎても多すぎてもいけないものだと考える。この課題についてはこれからも継続して議論していきたい。特に実質的な議論を行っている委員会での議論をもっと知りたいという意見は、議会広報委員会でも議論されてきた。この点もさらに深めて議論していきたい。来年は市議会だよりのリニューアルが控えているが、その後もSNSや議会ホームページをもっと見やすくするという議論を行いたい。
23				市議会だよりで委員会での審査のプロセスを掲載してもらいたい。	
24	議員がSNSをどういったスタンスで活用しているのか知りたい。				
25	議員の服装について、もっとフォーマルな格好にしてもらいたい。				
26	前回の意見交換会での意見がどのように反映されているのか分からない。				
27	本日の内容について、テーマを設定したほうが議論しやすいのではないか。				
28	女性議員や年齢が若い議員が多いとよい。				

番号	発表順	内容	担当議員からのコメント
29	⑤	市側から発信される情報が分かりづらい。市のホームページは必要な情報までたどり着けない。	皆さんから御意見をいただく際には、テーマ設定等を工夫していきたい。また、情報の出し方、広報と広聴が議会側にとって課題であると改めて認識した。以上のような御指摘を真摯に受け止めて、市民と議員の双方が情報を共有したうえで議論が重ねられるよう、議会運営委員会で協議を進めていきたい。
30		本日の内容について、話を聞くだけなのか、ワークショップなのかが事前に分かれば、参加のハードルが下がると思う。	
31		議員と市の職員が議会の外でも協力していることがあると思うが、市民からは見えづらい。	
32		三鷹駅北口のバス停近くにある私有地の喫煙所について、受動喫煙等で大変な思いをしている市民もいる。私有地ということで改善しにくい、このような問題をみんなで解決していくにはどうしたらよいか。	
33		武蔵境駅南口の公衆トイレについて、パブリックコメント等を経ずに建設され、使いづらくなっている。このような経験や市民の意見を今後のまちづくりにどのように生かしていくのか。	
34	⑥	市議会だよりについて、内容が網羅的すぎてどこから読んでいいのか分からない。	情報発信に関する意見が多く、市民の皆様の手元に、情報を届けに行くようにしなければいけないと感じた。傍聴席のテーブルなど、すぐに対応できる可能性のある点は、議会内で話し合い、小さい改善を積み重ねていきたい。
35		議会傍聴について、どのタイミングでどの議論を行っているのかが分からず、聞きに行きたい内容があってもいつ傍聴に行けばよいか分からない。	
36		委員会室の傍聴席について、議員が座っている椅子にはテーブルがついているのに、傍聴席の椅子にはテーブルがなく、資料を広げたりメモをとったりしづらい。	
37		議会中継の録画公開について、1.25倍速で視聴できるようにしてもらいたい。	
38		市のホームページから市議会のホームページにたどり着きづらい。	

4 参加者アンケート結果

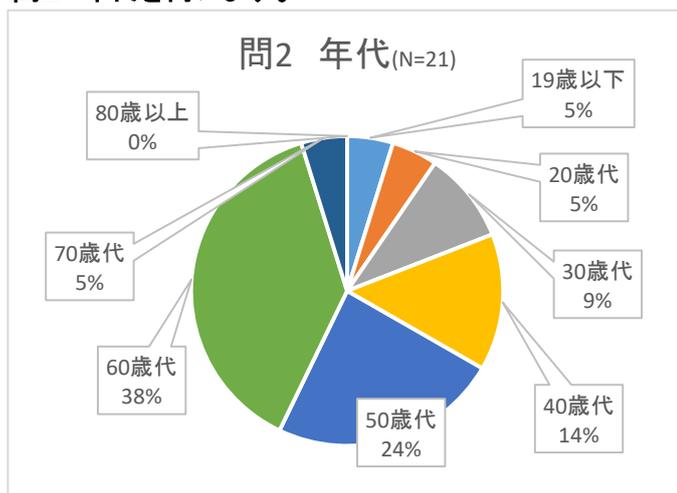
問1 お住まいの地区はどこですか。(地区名及び市外から選択)



問1			
吉祥寺東町	0	緑町	0
吉祥寺南町	2	八幡町	0
御殿山	0	関前	4
吉祥寺本町	2	境	4
吉祥寺北町	3	境南町	2
中町	2	桜堤	1
西久保	1	合計	21

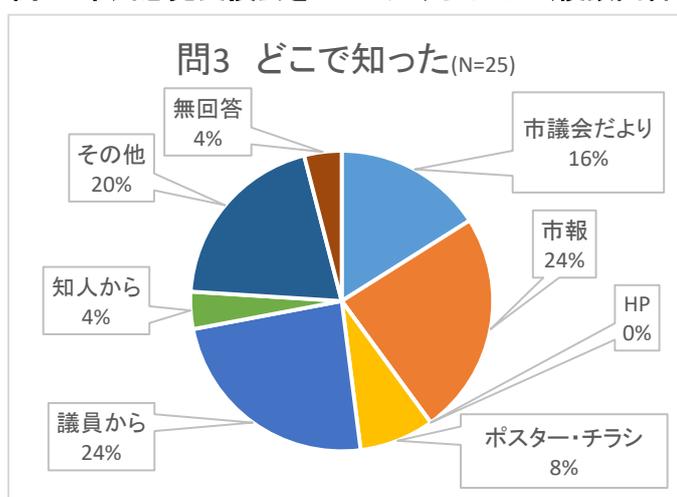
※市外との回答はなし。

問2 年代を伺います。



問2	
19歳以下	1
20歳代	1
30歳代	2
40歳代	3
50歳代	5
60歳代	8
70歳代	1
80歳以上	0
合計	21

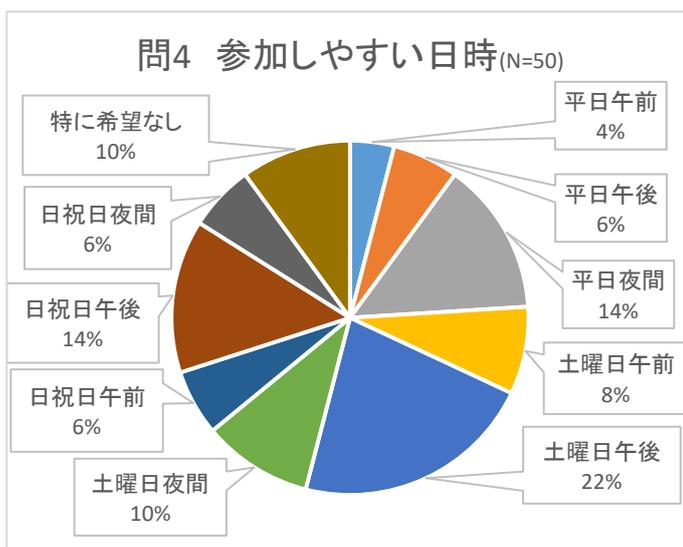
問3 市民意見交換会をどこで知りましたか(複数回答可)。



問3	
市議会だより	4
市報	6
HP	0
ポスター・チラシ	2
議員から	6
知人から	1
その他	5
無回答	1
合計	25

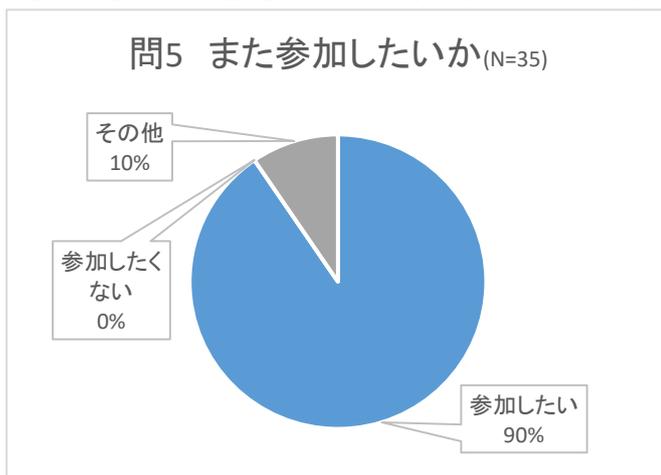
※その他の内容: SNS、X、コミセン

問4 参加しやすい曜日、時間について伺います(複数回答可)。



問4	
平日午前	2
平日午後	3
平日夜間	7
土曜日午前	4
土曜日午後	11
土曜日夜間	5
日祝日午前	3
日祝日午後	7
日祝日夜間	3
特に希望なし	5
合計	50

問5 今後、市民意見交換会が開催されたら、また参加したいと思いますか。



問5	
参加したい	19
参加したくない	0
その他	2
合計	21

※1「参加したい」のコメント
 ・テーマが分かると良い。

※2「その他」のコメント
 ・どちらともいえない
 ・少し緊張しました。問題意識を高め、課題をもって参加したいと思います。

参加者アンケート 自由記述

問6 本日の運営について御意見がありましたら、記入してください。

- ・会の内容が事前にわかると良いです。
- ・テーブルディスカッションやるとは知らなくてあせりました。事前に情報は伝えてほしいと思いました。
- ・最初は堅苦しい感じなのかと思って緊張して、なかなか意見を出せずにいましたが、皆でたくさんの意見を出し合って、武蔵野市の現状などが分かり、楽しかったし勉強になりました！
- ・議会そのものについての意見交換なのか、市政全般についての要望までを含めた意見交換会なのかがよく分からず、後者の意見も出したかったが出しづらく不完全燃焼だった。
- ・議会事務局職員ではなく、議員ご本人が事務局や企画運営されているところがとても良かったです。
- ・本日やることとテーマは明確にした上で告知された方がよいかと思います。
- ・市政に関心をお持ちの方が多くいらっしゃるので驚くしました。
- ・1年に1回程度、このような会があるとよいと思います。また、広く市民の方が多く参加できるように知らせてほしいです。
- ・オンラインでの開催があったので参加することができました。若い議員さんとお話ができて大変面白かったです。会場はまた別の空気感があったのかなとも思いますが、自分は意見をまとめるのが苦手なのでこれでよかったです。
中学生を始め若い参加の方が、しっかりとまとめて課題を投げかけられているのは頼もしく感じました。議会を知る一步になったと思います。ありがとうございました。
- ・大変おつかれさまでした。特に問題ないと思いましたが、今日の話題にもありましたように、内容が事前にわかっていると参加しやすいと思います。
- ・ユーチューブ配信について、議論をしているということですが、何が障害になっているのか？
SNS発信、従来型の広報の工夫を！
市HPのアクセスは、非常に分りにくい。改善されていない。
- ・オンラインの当日参加もできるとありがたい。
- ・今年度は「市民と議会の意見交換会」が開催されてよかったです。ありがとうございます。
ただ、参加市民の側は“もっと知りたい！議会のこと”という雰囲気ではなかったのが残念でした。市議会のみなさんが企図していたことと、参加する市民が求めていた（想定していた）ことに乖離があったのかと思います。普段市議会を傍聴する習慣がない市民にとっては、“もっと知りたい！”以前に市議会を全然知りません。知る機会がありません。国会は新聞・テレビ・ラジオ等のメディアが動向を取り上げ、時には様々解説がなされるためなんとなく知っていますが、市議会は報じるメディアがほとんどないので知ってもらうのはかなり大変だと思います。年数回の「議会だより」だけではなく、市報の一部に市議会コーナーを作ってもらって、毎号または隔号で少しずつ市議や議会の仕事を伝えてみてはいかがでしょうか。
このフォームのQ6と7の回答方式はラジオボタンでない方がいいと思います。紙だと複数回答が可能なのに、フォームだと複数回答できない状態なので。

参加者アンケート 自由記述

武蔵野市議会への御意見・御感想

- ・聞いていただいてありがとうございました。議員だよりが情報発信が不十分なのでページ数を増やして欲しいです。ワークショップ形式については反対します。
- ・メリハリのある市議会だよりの検討をお願いしたいです。来年4月の改訂を楽しみにしています。
- ・私有地の樹齢の長い(大きい?)木々が、宅地開発の際に伐倒されるのは、緑を守る視点から考えると、もったいない。東久留米市の学園町の緑を守っていくような取り組みが興味があります。武蔵野市にも展開できないものか、と思いました。
- ・法律上、同姓でなければ獲得できない権利を、別姓(事実婚のような状態)でも平等に得られるような制度を設定すると、多様な人々が武蔵野市に住んでもらえるようになるのではないかと思います。
- ・本日は開催いただきありがとうございました。本日の内容に関して来られなかった市民のために発信してほしい。形は紙面でも公式ホームページでもいいです。
- ・市のHPは、検索するとPDFダウンロードにつながる。ページには案内されない。
- ・市の各執行機関に要望、指摘、交渉する機会は沢山あるかと思いますが、その際市の職員にはリスペクトを持って接していただけたらと思います。市職員が気持ち良く働けるよう、議会・議員の側でも気配りいただけることが、結果的に市民のためになると思います。
- ・市民の大半がこまっている問題について、また相談にのって下さい。
- ・今日のイベントの内容について、わかりづらかった説明やワークショップがある、もしくは話すテーマなどが決まっているともっと参加のハードルが下がると思う。
- ・市議会での決議、検討の進捗状況、選挙の実施日や投票率などなど市のHPには色々な情報がのっているが、どこにあるか分かりにくい。現代的なプラットフォームなどでの発信をしてほしい。
- ・市議や市の職員の方がどのように、どこで働いてくださっているのか、もっと分かる機会があるといい。
- ・市議の方はスーツではなくてもよいかも…もっとフランクに話せるイベントになると思います。
- ・本日は大変有意義な意見交換会でした。また参加致します。
- ・今回出た広報の仕方、傍聴への対応などありますが、武蔵野市が着実なまちづくりをすすめるために、市職員、市議会、市民が平らな関係で議論ができればよいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・様々な困り事が解決していくよう、1人1人が楽しく過ごせる武蔵野市になるよう、よろしくお願いいたします。

- ・議場で、国旗の掲揚を。

陳述の順番は、委員会の冒頭に。

陳述は、一方通行ではなく、最後に陳述者の意見を聞いてから採決を。なぜならば、議論中に論点がずれること、市からの答弁でも分からないの一言で片付けられたことも多々ありました。

- ・市内の小中学生が議会を傍聴できる機会を作ってあげたら良いと思う。

- ・全員協議会のネット中継の早期実現をよろしくお願いします。

録画動画への字幕等の情報保障もご検討ください。実現できる技術や方法はあるのに対応できていないとなると、合理的配慮に欠ける状態ということになります。

今回参加した市民の中には「市議会議員に直接困りごとの訴えをできるチャンス」と思って参加されている方もいらしたので、今後「市民の声を市議全員で聞く会」も企画してみたいかと思いますが。市議のみなさんが思っている以上に、直接連絡したり声をかけたりするのはハードルが高いと思っている市民は多いです。また、すべての市議会議員に伝えたいと思っても26名全員に連絡するのは大変です。行政への訴えだけでは心細いのでできれば議会からも声をあげてほしい！そのために議員さんに知ってほしい！という市民ニーズはあるはず。 「問題解決は必ずしも約束できないし、要望を必ずしも実現できるとは言えないが、市民の声を聞きましょう！」という会があったら議会も市民もwin-winでよいのではないかと思います。

5 資料編

意見交換会のチラシ・ポスター及び当日配付した以下の資料について、「5 資料編」として添付いたします。

- (1) チラシ・ポスター
- (2) 次第
- (3) 当日説明用パワーポイント資料
- (4) アンケート用紙